

岐阜県農業チャレンジ！ 瓢箪イルミおもてなしプロジェクト

クラブ員代表者会議 東海ブロック連盟 岐阜県立岐阜農林高等学校
園芸科学科 3年 大庭 楓
動物科学科 3年 上田 娵梨愛

岐阜県には7つの農業科を含む学校があり、約2900人のクラブ員が在籍しています。7つの高校それぞれが地域と連携し、特色ある様々な活動を通して地域の農業を盛り上げています。

【県内の農業高校】

- ①岐阜農林高校 ②大垣養老高校 ③郡上高校
- ④加茂農林高校 ⑤恵那農業高校 ⑥阿木高校
- ⑦飛騨高山高校

岐阜県農業クラブでは今、「瓢箪イルミプロジェクト」を県下の農業高校が協力して取り組んでいます。これは岐阜県内の農業高校が一つになり、同じ目標に向かって、取り組める活動はないかと考え、「農業クラブで学んだ専門性を生かした、魅力ある、楽しい活動に挑戦したい！」という農業クラブ員の思いのもと立ち上げられたプロジェクトです。

そこで私たちがプロジェクトのメインとして選んだのは「瓢箪」でした。「瓢箪」と「岐阜県」、何の関係があるんだろうと不思議に思われるかもしれませんが。しかし皆さんご存知でしょうか？信長で有名な岐阜城のある金華山の頂上には「せんなり瓢箪発祥の地」と言われる場所があり、養老町にある養老の滝には「養老孔子伝説」があるなど、「瓢箪」は「岐阜県」と深い関わりをもっています。それに加え、瓢箪は岐阜県養老町の特産品であり、大垣養老高校では瓢箪を使って町おこしを行っています。その活動の1つとして「養老改元1300年祭で養老の滝瓢箪イルミネーション」が開催され、多くの人に見ていただき大好評でした。この取り組みをもっと多くの人に見てもらいたい



図1 岐阜県内の農業高校



図2 瓢箪の栽培



図3 せんなり瓢箪発祥の地



図4 養老の滝瓢箪イルミネーション

という思いがプロジェクトに反映されたのです。

また瓢箪は水筒として世界中で使用されており、人類最古の栽培植物として、人類と関わりが深い植物でもあります。そして世界各国で様々な目的で利用されており、形も同じものではなく、一つ一つ個性を持っています。その点において瓢箪はオリンピックアイテムとしてふさわしいと私たちは考え、「瓢箪イルミプロジェクト」の大きな目標は2020年東京オリンピック・パラリンピックとなりました。

東京オリンピック・パラリンピックでの大きな目的は2つあり、「グリーンカーテンで昼は涼しく、夜はイルミネーションでおもてなし」です。

【Step 1 グリーンカーテン】

私たちはプロジェクト成功を目指して、まず瓢箪でのグリーンカーテン作成に取り組みました。それぞれの高校で苗から瓢箪を栽培しました。しかし順調に育つかと思われた瓢箪の葉は、夏の暑さに耐えきれず枯れてしまいました。瓢箪は夏には実だけを残して葉を落としてしまうのです。夏の暑さを軽減するためのグリーンカーテンが枯れてしまっただけでは意味がありません。そこでグリーンカーテンとイルミネーションを分けて取り組むことはできないかと考えました。

私たちは、長崎県の鈴田峠農園さんがオリンピックに向け、パッションフルーツでグリーンカーテンを作りクールスポットを作ろうとされているとお聞きしました。パッションフルーツは暑さに強く、グリーンカーテンには最適な植物です。そこで瓢箪イルミとコラボできないか提案させていただいたところ、ぜひ一緒にやりましょう！と快く受け入れて下さいました。ここからパッションフルーツと瓢箪イルミプロジェクトのコラボがスタートしました。



図9 コラボによって実現した瓢箪イルミおもてなしプロジェクト



図5 瓢箪の工芸品



図6 瓢箪で五輪マーク作製



図7 栽培実験開始



図8 鈴田峠農園に協力依頼

【Step 2 プロジェクトのPR】

さてプロジェクトを成功させるためにはPRが必要です。どれだけ頑張っても、誰も知らないプロジェクトでは意味がありません。私たちは高校ごとに様々な場所でPRをし、暖かい応援の言葉と力強いご支援をいただきました。

【PR活動場所】

- (1) 養老町にある養老公園でイルミネーション
- (2) 東京で開かれた『清流の国岐阜』おもてなし食材披露会
- (3) 岐阜市にあるスポーツ施設の岐阜メモリアルセンターにグリーンカーテンを設置
- (4) 2019年4月に行われた高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン

【Step 3 プロジェクトの本格化】

テレビや新聞といったメディアにも取り上げていただき、プロジェクトは現実味を帯びてきました。だからこそ、さらにプロジェクトを本格化し、成功させなければならない。そんな思いから私たちは「瓢箪生徒実行委員会」を立ち上げ、年に5、6回、県下7校のクラブ役員が集まる会議を開いています。話し合いの内容は様々で、イルミネーションのデザインやPRの方法、また長崎から鈴田峠農園の當間さんをお招きし、パッションフルーツ栽培の講習会を開くなど、充実したものになっています。

【Step 4 各校での活動】

しかしこのように7校の生徒が同じ場所に集まる機会はありません。そこで大切になってくるのが各高校での取り組みです。岐阜農林高校では、岐農祭という地域の方が参加できるイベントで「ひょうたん絵つけ体験」を計画し、PRをしました。小さな子から高齢の方まで、沢山の方が来てくださりました。

このように岐阜県の農業クラブでは、一つのプロジェクトに取り組み、農業クラブ活動の一つとして岐阜県全体で頑張っています。



図 10 瓢箪イルミPR活動①



図 11 瓢箪イルミPR活動②



図 12 瓢箪生徒実行委員会



図 13 岐農祭で瓢箪イベント



図 14 イルミネーション設置点灯式